

授業教科	地理歴史科	授業科目	歴史総合	単位数	2
履修学年	2年	類型	共通	履修	必修
1. 教科・科目の目標					
<p>(1)「地理歴史科」の目標 わが国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。</p> <p>(2)「歴史総合」の目標 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら歴史の学び方を習得し、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察、構想する学習を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。</p>					
2. 学習内容と学習方法					
<p>(1) 学習内容</p> <p>第1部 近代化と私たち</p> <p>第1章 結びつく世界と日本の開国 18世紀の東アジアにおける社会と経済 ・ 貿易が結んだ世界と日本 ・ 産業革命 ・ 中国の開港と日本の開国</p> <p>第2章 国民国家と明治維新 市民革命 ・ 国民国家とナショナリズム ・ 明治維新 ・ 日本の産業革命 ・ 帝国主義 ・ 変容する東アジアの国際秩序 ・ 日露戦争と東アジアの変動</p> <p>第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>第3章 総力戦と社会運動 第1次世界大戦の展開 ・ ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭 ・ ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・ 世界経済の変容と日本 ・ アジアのナショナリズム ・ 大衆の政治参加 ・ 消費社会と大衆文化</p> <p>第4章 経済危機と第2次世界大戦 世界恐慌の時代 ・ ファシズムの伸長と共産主義 ・ 日中戦争への道 ・ 第2次世界大戦の展開 ・ 第2次世界大戦下の社会 ・ 国際連合と国際経済体制 ・ 占領と戦後改革 ・ 冷戦の始まりと東アジア諸国の動向 ・ 日本の独立と日米安全保障条約</p> <p>第3部 グローバル化と私たち</p> <p>第5章 冷戦と世界経済 冷戦下の地域紛争と脱植民地化 ・ 東西両陣営の動向と1960年代の社会 ・ 軍拡競争から緊張緩和 ・ 地域連携の形成と展開 ・ 計画経済とその波及 ・ 日本の高度経済成長 ・ アジアのなかの戦後日本</p> <p>第6章 世界秩序の変容と日本 石油危機 ・ アジア諸地域の経済発展 ・ 市場開放と経済の自由化 ・ 情報技術革命とグローバル化 ・ 冷戦の終結とソ連の崩壊 ・ 現代の東アジア ・ 東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化 ・ 地域統合の拡大と変容 ・ 地域紛争と国際社会 ・ 現代と私たち</p>					
3. 大学受験について					
<p>(1) 国公立大学：大学入試共通テストにおいて、文系は地理歴史（地理総合・歴史総合・地理探究・日本史探究・世界史探究）と公民（公共・倫理・政治経済）の中から各1科目、理系は8科目から1科目選択が一般的である。</p> <p>(2) 私立大学：文系の学科では学力試験が行われます。大学入試共通テストの大学も増えています。大学によって出題内容が異なるので必ず過去問やHP（ホームページ）で入試科目を確認してください。</p>					
4. 評価方法					
定期考査・提出物・授業態度・その他を合わせた総合的評価を行う。					
教科書	山川出版社「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える」				
副教材	帝国書院「明解 歴史総合図説 シンフォニア 初訂版」 山川出版社「歴史総合ノート 近代から現代へ」				

学習計画		2 学年	共通	歴史総合
学期	単元名	学習内容	身に付けさせたい力	
1	第1部 近代化と私たち	第1章 結びつく世界と 日本の開国 第2章 国民国家と明治維新	第1章では、18世紀の東アジアにおける社会と経済、貿易が結んだ世界と日本、産業革命、中国の開港と日本の開国について、第2章では、市民革命、国民国家とナショナリズム、明治維新、日本の産業革命、帝国主義、変容する東アジアの国際秩序、日露戦争と東アジアの変動について、中学校で学習した歴史の内容をふまえたうえで、日本を含むアジア諸国とその他の国や地域を比較、関連づけて学習していく。	
2	第2部 国際秩序の変化や 大衆化と私たち	第3章 総力戦と社会運動 第4章 経済危機と 第2次世界大戦	第3章では、第1次世界大戦の展開、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ヴェルサイユ体制とワシントン体制、世界経済の変容と日本、アジアのナショナリズム、大衆の政治参加、消費社会と大衆文化について、第4章では、世界恐慌の時代、ファシズムの伸長と共産主義、日中戦争への道、第2次世界大戦の展開、第2次世界大戦下の社会、国際連合と国際経済体制、占領と戦後改革、冷戦の始まりと東アジア諸国の動向、日本の独立と日米安全保障条約について、中学校で学習した歴史の内容をふまえたうえで、日本を含むアジア諸国とその他の国や地域を比較、関連づけて学習していく。	
3	第3部 グローバル化と私たち	第5章 冷戦と世界経済 第6章 世界秩序の変容と日本	第5章では、冷戦下の地域紛争と脱植民地化、東西両陣営の動向と1960年代の社会、軍拡競争から緊張緩和、地域連携の形成と展開、計画経済とその波及、日本の高度経済成長、アジアのなかの戦後日本について、第6章では、石油危機、アジア諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報技術革命とグローバル化、冷戦の終結とソ連の崩壊、現代の東アジア、東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化、地域統合の拡大と変容、地域紛争と国際社会、現代と私たちについて、中学校で学習した歴史の内容をふまえたうえで、日本を含むアジア諸国とその他の国や地域を比較、関連づけて学習していく。	

地歴科授業シラバス

教科	科目名	単位数	学年	クラス	担当教諭
地理歴史・公民科	世界史B	4	3	3年1組～3年7組	野原 桃子 ・ 具志 飛馬

検印	校長		教頭		教頭	
----	----	--	----	--	----	--

1 学習目標

学習の到達目標	①世界史に関する興味・関心を高め、意欲的に学習する態度を育成する。 ②世界史の大きな枠組みと流れを、我が国を含む諸地域世界の歴史と関連付けながら理解させる。 ③主題学習を通して客観的で公正なものを見方を育成するとともに、広い視野から歴史を考察させる。
使用教科書・副読本等	帝国書院「新詳 世界史B」 浜島書店「ニューステージ 世界史詳覧」

2. 学習計画

月	単元名		学習項目	学習内容	評価の観点	考查範囲
4月	第1編 序章 文明以前の人類	1	1,人類の登場	○人類の進化の過程を、語族なども含め学習する。	1.2.3.4	1学期中間 考查
		1	2,地域文化	○新石器時代の到来、農耕と牧畜の始まりと農耕文化の伝播を理解する。		
	第1章 オリエント世界と 東地中海世界	2	1,オリエント	○メソポタミア文明・エジプト文明の展開とそれらの文化の特徴を理解する。	1.2.3.4	
		1	2,オリエント	○アッシリアとアケメネス朝の支配の特徴を理解する。		
		3	3,ギリシア	○クレタ文明とミケーネ文明の成立、古代ギリシアのポリス社会の特徴、民主政発展や民主政の特徴、古代ギリシア文明の特質を理解する。		
1	4,ヘレニズム世界	○ヘレニズム世界の成立と、文明の特徴を理解する。				
5月	第2章 地中海世界と西ア ジア	2	1,都市国家から帝国へ	○ローマの共和政の特徴と、支配の拡大に伴う社会の変化について理解する。	1.2.3.4	
		2	2,ローマ帝国の繁栄	○「ローマの平和」時代のローマ社会やローマ文明の特徴を理解する。		
		2	3,古代の社会と地中海	○専制君主政期のローマの政治体制・社会を理解する。 ○キリスト教の拡大を、ローマ帝国と関連で理解する		
		1	4 地中海と西アジア	○東ローマ帝国・パルティア・ササン朝の統治、ペルシアの特質を理解する。		
	第3章 南アジア世界	3	1,北インド世界の展開	○インダス文明の特徴、古代インドの社会・宗教体系の成立を理解する。	1.2.3.4	
		2	2 ヒンドゥー世界	○インド洋交易の発展とインド世界、ヒンドゥー教の成立、グプタ朝以降の過程を理解する。		
	第4章 東アジア世界	3	1 東アジア	○黄河文明、殷や周の国家と政治、春秋・戦国時代、諸思想を理解する。	1.2.3.4	
		2	2 中華帝国	○秦漢における中央集権的専制国家の形成を理解する。		
		2	3 東方の世界帝国	○三国時代から隋の統一に至る過程、諸制度の整備、文化の特徴を理解する。 ○同時期の朝鮮半島や日本の動向を学ぶ。		
	第5章 内陸ユー ラシア世界	2	1 騎馬遊牧民国家の 興亡	○スキタイや匈奴など騎馬遊牧民のユーラシア世界での役割を理解する。 ○シルクロードを舞台とした人や交流を学習する。	1.2.3.4	
1		2 草原地帯	○中央アジアでのトルコ系民族の活躍とイスラームの拡大状況を理解する。			
6月	第6章 東南アジア世界	2	1 海の道	○東南アジア世界の海域世界としての特徴を理解する。	1.2.3.4	
		1	2,東南アジア	○隋唐帝国やイスラーム世界の都市と交易と、東南アジア諸国家の形成を関連づける。		
	第7章 古アメリ カ、諸地域世界	2		○メソアメリカ文明やアンデス文明の成立、地中海世界の要衝であったイスタンブルの変遷について、長期的な視点から理解する。	1.2.3.4	
	第2編 結びあう 地域世界 第8章 イスラーム 世界の形成	2	1 イスラーム世界	○イスラーム教成立の経緯と特徴、ウマイヤ朝やアッバース朝の成立、統治を理解する。	1.2.3.4	
		1	2 イスラーム世界の 発展	○諸民族へのイスラーム教の普及に伴うイスラーム世界の拡大、地方政権の成立と発展について理解する。		
		1	3 イスラーム文明	○イスラーム文明の特質とイスラーム文化の発展を、周辺地域との関係を踏まえ理解する。		
	第9章 ヨーロッパ世界の 形成	1	1,東ヨーロッパ世界	○ビザンツ帝国の動向やスラヴ人の諸国家の形成について学習する。	1.2.3.4	
		2	2,西ヨーロッパ世界	○フランク王国とローマ教会の提携によるヨーロッパ世界形成を理解する。		
	7月	形成	2	3 封建社会と都市	○ノルマン人の活動とヨーロッパへの影響を理解する。 ○封建社会の形成とその特徴、商業や都市の発展、都市生活を理解する。	1.2.3.4
			1	4,カトリックと十字軍	○教皇権の拡大と、十字軍の背景や影響について、西欧世界の膨張という中で理解する。	
1			5,中世の文化	○中世西ヨーロッパ文化の特徴について理解する。		
2			6,中世世界	○封建社会の動揺、教皇の衰退、英仏や独・伊・北欧、イベリア半島の動向を理解する。		
1			7,ルネサンス	○ルネサンスの背景、文芸の発展を、時代状況と関連させ理解する。		

9月	第10章 東アジア世界の変容	2	1,唐の崩壊	○唐滅亡から宋の成立までの東アジアの変動を理解する。	1.2.3.4	2学期中間 考査	
		1	2,宋代の展開	○宋代における社会の変化と都市経済や当時の文化の特色を理解する。			
		1	3,モンゴル	○モンゴル人によるユーラシア制覇の過程, 体制, 東西交流を理解する。			
		2	4,元朝の成立	○元朝の統治体制, 社会や文化, 元朝と東アジア諸地域との関係を理解する。			
	第3編 一体化する世界 第11章 海域世界の発展	3	1,海域世界の成立	○南シナ海交易の発展と中国商人、インド洋交易におけるムスリム商人、地中海交易とイタリア商人の活動を中心に理解する。	1.2.3.4		
		2	2,海域世界	○東シナ海・南シナ海、インド洋海域の発展を理解する。			
		1	3 海と陸の結合—東	○東南アジアの港市国家の発展で、内陸の国家群も大きな影響を受けたことを理解する。			
		1	南アジア	○鄭和の南海遠征やマラッカ王国の繁栄について学ぶ。			
	第12章 ユーラシア諸帝国 の繁栄	1	1,中央アジア	○ティムール朝やサファヴィー朝, ウズベク人やカザフ人などの動向を学ぶ。	1.2.3.4		
		2	2,オスマン帝国	○オスマン帝国の拡大過程と統治体制や文化の特徴, 社会の変質を理解する。			
		1	3 インド	○ムガル帝国の発展と分裂, 地方勢力の台頭を理解する。			
		2	4 明と東アジア世界	○明の成立, 明代の思想と文化を理解する。			
10月		1		○明代の日本や朝鮮など東アジアの動向を学習する。			
		3	5 清と東アジア世界	○清の建国と版図の拡大, 統治体制、清朝におけるイエズス会の活動, 清の社会経済, 文化、17世紀の日本や朝鮮など東アジアの動向を学習する。			
		2	1 海洋帝国の出現	○ヨーロッパの海外進出の背景, ポルトガルのインド洋・南シナ海・東シナ海の進出、スペインのアメリカ大陸進出と植民地経営の特徴を理解する。		1.2.3.4	
	2	2 大交易時代	○ヨーロッパのアジアやラテンアメリカへの進出, ヨーロッパ社会の変容、東南アジアや東アジア世界での交易の発展を理解する。				
	第14章 近世のヨーロッパ	1	1,主権国家と宗教改革	○主権国家の成立, 宗教改革と対抗宗教改革の動きを, 当時の国際関係を踏まえ理解する。	1.2.3.4		
		4	2 オランダの繁栄と英仏	○オランダの商業覇権の確立と要因、ピューリタン革命・名誉革命、イギリス立憲王政の確立過程、フランス絶対王政の展開、三十年戦争を理解する。			
		1	3 専制国家	○プロイセンの強国化やロシア台頭の過程とその影響を理解する。			
		2	4 近世ヨーロッパ	○近世ヨーロッパの社会の変容, 科学革命, 主権国家の理論・イギリス経験論・大陸合理論・啓蒙思想などの諸思想について理解する。			
	10月	第15章 欧米における国民	2	1,激化する経済覇権抗争	○大西洋三角貿易と各地への影響、オランダの植民地経営への転換, 北米やインドにおける英仏の植民地抗争について理解する。	1.2.3.4	2学期末考 査
	11月	国家の形成	2	2 工業と社会問題の発生	○産業革命の背景や展開, 産業革命によって新たに発生した諸問題、産業革命の波及によって成立した世界秩序について理解する。	1.2.3.4	
			2	3 合衆国とラテンア	○アメリカ合衆国独立の過程と独立後の領土拡大について理解する。		
			2	メリカ	○ラテンアメリカ諸国の独立, 独立後のラテンアメリカ社会の特徴や問題を理解する。		
2			4,フランス革命とウィ	○フランス革命の背景, 革命の展開, ナポレオン戦争の展開を理解する。			
2			ーン体制	○フランス革命により国民国家の原則が登場し, ナポレオンの大陸制圧で欧州にナショナリズムが拡大したこと,ウィーン体制の成立と性質を理解する。			
1			5,社会変革	○ナショナリズムや社会主義思想の出現と革命運動の性質を理解する。			
第4編 一体化の 進展と世界の再編 第16章 資本主義 と帝国主義	4	1 欧米世界	○ヨーロッパ諸国とアメリカの状況について理解する。	1.2.3.4			
	1	2 欧米経済と文化	○帝国主義の背景や特質について, 人口移動, 社会生活の変容, 新たな思想・文化など, 様々な視点で理解する。				
	2	3,帝国主義と世界秩序	○ヨーロッパのアフリカ分割や合衆国のカリブ海政策など, 欧米による世界分割を理解する。				
12月	第17章 アジア諸 地域の変革運動	3	1,西アジアの改革運動	○ワッハーブ派やパン=イスラーム主義による改革, オスマン帝国の改革、カージャール朝への英露の進出, それに対する抵抗を理解する。	1.2.3.4		
		2	2,植民地化と民族運動	○イギリスのインド支配の拡大と特徴, イギリス支配への抵抗、東南アジア各地の植民地化と植民地経営の特徴, 東南アジアでの民族運動を理解する。			
		2	3,清の動揺と東アジア	○アヘン戦争から辛亥革命に至る経緯, 旧体制温存と変革, 近代化と排外主義、日本の勢力拡大や朝鮮半島の植民地, アジアの国際秩序を整理する。			
1月	第18章 世界戦争の時代	2	1,第一次大戦	○第一次世界大戦時の国際的な対立～大戦終結に至る経緯を理解する。	1.2.3.4		
		2	2 ヴェルサイユ体制	○ロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の成立と特徴を理解する。			
		2	3 大戦後の合衆国と 欧州	○大戦後アメリカ合衆国の社会経済の繁栄と、ヨーロッパ各国の動向を, 大戦後の各国の置かれた状況を考慮しながらその違いを理解する。			

2 月	第5編 地球世界	2	4 アジア・アフリカの 国家形成の動き	○西アジア地域の国家形成の動き、インドの独立運動の展開を、ヒンドゥー・ムスリム教徒の関係、東南アジア各地の民族運動、中国の近代化の様相と国民党の中国統一を学習する。	学年末 考 査
		2	5 世界恐慌と対立の 激化	○世界恐慌の背景と、ニューディール政策やブロック経済政策を理解する。 ○ナチス=ドイツの政権掌握と政治の特徴、日本の中国侵略を理解する。	
		2	6 第二次大戦	○大戦前の状況、枢軸国軍の勢力拡大、終戦にいたる経緯を理解する。	
	2	1 合衆国の覇権と冷戦	○連合国の主導による戦後処理とその世界化の状況を理解する。	1.2.3.4	
	2	2,第三勢力	○第三勢力形成の展開とその現代史的意義を理解する。	1.2.3.4	
	1	3 戦後体制の動揺	○冷戦の緩和、社会主義陣営内での対立、アメリカの地位低下とアジア諸国の成長、南北や南南問題、国際経済体制の転換などを理解する。	1.2.3.4	
4,多極化とソ連の崩壊	○1970年代からソ連の崩壊までの時代を、ヨーロッパ、アジア、イスラーム復興、アフリカやアメリカの動向、冷戦終結など様々な側面から理解する。				
終章 経済のグローバル 化と新たな地域秩 序	1	1 経済のグローバル 化	○冷戦後の世界経済のグローバル化と、ヨーロッパにおけるEUの展開、アメリカやアジア太平洋地域における地域統合の動向について理解する。	1.2.3.4	
2,グローバル化と国際 秩序	核軍縮、環境問題、南北問題、人権などをめぐる問題など現代の諸課題を認識する。				

### 3 評価の方法

#### (1)評価の結果を生かす

評価は自分の学習成果を確認するためになされます。不十分な点があればその後の学習につなげましょう。そのため、返却されたテストやレポートなどをしっかり見直しましょう。

#### (2)評価の観点

評価は学習で身につける力を次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	○世界の歴史を学ぶ意義に気づき、世界史に対する関心を高め、主体的に学習に取り組んでいるか。 ○世界が抱える諸課題について、平和で民主的な世界、地域、国、社会を形成していく当事者としての自覚を持って考える態度を身につけているか。
思考・判断・表現	○世界の歴史を、自然環境とのかかわりや地理的条件、日本の歴史と関連づけて、実証的、多角的、多面的に考察しているか。 ○世界の歴史を、時間的なつながりや空間的なつながりに着目して考察しているか。 ○歴史的に形成された諸課題について、様々な理解、立場があることをふまえ、公正に判断しているか。 ○課題についての考察や判断の過程や結果を、効果的な方法を選択して適切に表現しているか。
資料活用の技能	○世界の歴史を考察するために必要な諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができているか。 ○得られた資料や情報を効果的に活用し、歴史を探究する学び方を身につけているか。
知識・理解	○古代から現代まで世界の政治、経済、社会、文化、宗教、生活の各領域での歴史的な事象を理解し、基本的な知識を身につけているか。 ○古代から現代にいたる世界の歴史の大きな枠組みと展開を、地理的条件や日本の歴史とも関連付けながら理解しているか。

#### (3) 評価の時期と方法

- ①年5回の定期考査では、ペーパーテストによって出題範囲における「知識・理解」の習得の状況を評価し、論述問題等を通して「思考・判断・表現」の状況を評価します。
- ②不定期に課す課題探究学習の際のレポートは、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」および「資料活用の技能」の状況を評価する資料とします。
- ③学習活動の様子や発表、討論などの様子を評価のための資料とします。
- ④自己評価、振り返りシートを評価の参考とします。

#### (4) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価に関する情報を総合的に判断して下記のように行います。

- ①定期考査の得点 **80%**
- ②課題の提出（新聞等）・発表・プリント・ノート提出等・その他（授業態度等） **20%**の割合。

地歴科授業シラバス

教科	科目名	単位数	学年	クラス	担当
地理歴史・公民科	世界史 B	3	3	3年8組・3年9組	山 川 宗一郎

検印	校 長		教頭		教頭	
----	-----	--	----	--	----	--

1 学習目標

学習の到達目標	①世界史に関する興味・関心を高め、意欲的に学習する態度を育成する。 ②世界史の大きな枠組みと流れを、我が国を含む諸地域世界の歴史と関連付けながら理解させる。 ③主題学習を通して客観的で公正なもの見方を育成するとともに、広い視野から歴史を考察させる。
使用教科書・副読本等	帝国書院「新詳 世界史B」 浜島書店「ニューステージ 世界史詳覧」

2. 学習計画

月	単元名		学習項目	学習内容	評価の観点	考查範囲
4月	第1編 序章 文明以前の人類	1	1,人類の登場	○人類の進化の過程を、語族なども含め学習する。	1.2.3.4	1学期中間 考查
		1	2,地域文化	○新石器時代の到来、農耕と牧畜の始まりと農耕文化の伝播を理解する。		
	第1章 オリエント世界と 東地中海世界	2	1,オリエント	○メソポタミア文明・エジプト文明の展開とそれらの文化の特徴を理解する。	1.2.3.4	
		1	2,オリエント	○アッシリアとアケメネス朝の支配の特徴を理解する。		
		3	3,ギリシア	○クレタ文明とミケーネ文明の成立、古代ギリシアのポリス社会の特徴、民主政発展や民主政の特徴、古代ギリシア文明の特質を理解する。		
1	4,ヘレニズム世界	○ヘレニズム世界の成立と、文明の特徴を理解する。				
5月	第2章 地中海世界と西ア ジア	1	1,都市国家から帝国へ	○ローマの共和政の特徴と、支配の拡大に伴う社会の変化について理解する。	1.2.3.4	
		1	2,ローマ帝国の繁栄	○「ローマの平和」時代のローマ社会やローマ文明の特徴を理解する。		
		2	3,古代の社会と地中海	○専制君主政期のローマの政治体制・社会を理解する。 ○キリスト教の拡大を、ローマ帝国と関連で理解する		
		1	4 地中海と西アジア	○東ローマ帝国・パルティア・ササン朝の統治、ペルシアの特質を理解する。		
	第3章 南アジア世界	3	1,北インド世界の展開	○インダス文明の特徴、古代インドの社会・宗教体系の成立を理解する。	1.2.3.4	
		2	2 ヒンドゥー世界	○インド洋交易の発展とインド世界、ヒンドゥー教の成立、グプタ朝以降の過程を理解する。		
	第4章 東アジア世界	3	1 東アジア	○黄河文明、殷や周の国家と政治、春秋・戦国時代、諸思想を理解する。	1.2.3.4	
		1	2 中華帝国	○秦漢における中央集権的専制国家の形成を理解する。		
		2	3 東方の世界帝国	○三国時代から隋の統一に至る過程、諸制度の整備、文化の特徴を理解する。 ○同時期の朝鮮半島や日本の動向を学ぶ。		
	第5章 内陸ユー ラシア世界	2	1 騎馬遊牧民国家の 興亡	○スキタイや匈奴など騎馬遊牧民のユーラシア世界での役割を理解する。 ○シルクロードを舞台とした人や交流を学習する。	1.2.3.4	
1		2 草原地帯	○中央アジアでのトルコ系民族の活躍とイスラームの拡大状況を理解する。			
6月	第6章 東南アジア世界	2	1 海の道	○東南アジア世界の海域世界としての特徴を理解する。	1.2.3.4	
		1	2,東南アジア	○隋唐帝国やイスラーム世界の都市と交易と、東南アジア諸国家の形成を関連づける。		
	第7章 古アメリ カ、諸地域世界	2		○メソアメリカ文明やアンデス文明の成立、地中海世界の要衝であったイスタンブルの変遷について、長期的な視点から理解する。	1.2.3.4	
	第2編 結びあう 地域世界 第8章 イスラーム 世界の形成	2	1 イスラーム世界	○イスラーム教成立の経緯と特徴、ウマイヤ朝やアッバース朝の成立、統治を理解する。	1.2.3.4	
		1	2 イスラーム世界の 発展	○諸民族へのイスラーム教の普及に伴うイスラーム世界の拡大、地方政権の成立と発展について理解する。		
		1	3 イスラーム文明	○イスラーム文明の特質とイスラーム文化の発展を、周辺地域との関係を踏まえ理解する。		
	第9章 ヨーロッパ世界の 形成	1	1,東ヨーロッパ世界	○ビザンツ帝国の動向やスラヴ人の諸国家の形成について学習する。	1.2.3.4	
1		2,西ヨーロッパ世界	○フランク王国とローマ教会の提携によるヨーロッパ世界形成を理解する。			
7月	形成	1	3 封建社会と都市	○ノルマン人の活動とヨーロッパへの影響を理解する。 ○封建社会の形成とその特徴、商業や都市の発展、都市生活を理解する。	1.2.3.4	1学期末考 査
		1	4,カトリックと十字軍	○教皇権の拡大と、十字軍の背景や影響について、西欧世界の膨張という中で理解する。		
		1	5,中世の文化	○中世西ヨーロッパ文化の特徴について理解する。		
		2	6,中世世界	○封建社会の動揺、教皇の衰退、英仏や独・伊・北欧、イベリア半島の動向を理解する。		
		1	7,ルネサンス	○ルネサンスの背景、文芸の発展を、時代状況と関連させ理解する。		

9月	第10章 東アジア世界の変容	1	1,唐の崩壊	○唐滅亡から宋の成立までの東アジアの変動を理解する。	1.2.3.4	2学期中間 考査	
		1	2,宋代の展開	○宋代における社会の変化と都市経済や当時の文化の特色を理解する。			
		1	3,モンゴル	○モンゴル人によるユーラシア制覇の過程, 体制, 東西交流を理解する。			
		1	4,元朝の成立	○元朝の統治体制, 社会や文化, 元朝と東アジア諸地域との関係を理解する。			
	第3編 一体化する世界	3	1,海域世界の成立	○南シナ海交易の発展と中国商人、インド洋交易におけるムスリム商人、地中海交易とイタリア商人の活動を中心に理解する。	1.2.3.4		
		第11章 海域世界の発展	2	2,海域世界			○東シナ海・南シナ海、インド洋海域の発展を理解する。
			1	3 海と陸の結合—東 南アジア			○東南アジアの港市国家の発展で、内陸の国家群も大きな影響を受けたことを理解する。 ○鄭和の南海遠征やマラッカ王国の繁栄について学ぶ。
	第12章 ユーラシア諸帝国 の繁栄	1	1,中央アジア	○ティムール朝やサファヴィー朝, ウズベク人やカザフ人などの動向を学ぶ。	1.2.3.4		
		2	2,オスマン帝国	○オスマン帝国の拡大過程と統治体制や文化の特徴, 社会の変質を理解する。			
		1	3 インド	○ムガル帝国の発展と分裂, 地方勢力の台頭を理解する。			
	10月		1	4 明と東アジア世界	○明の成立, 明代の思想と文化を理解する。		1.2.3.4
			1		○明代の日本や朝鮮など東アジアの動向を学習する。		
3			5 清と東アジア世界	○清の建国と版図の拡大, 統治体制、清朝におけるイエズス会の活動, 清の社会経済, 文化、17世紀の日本や朝鮮など東アジアの動向を学習する。			
第13章 大交易時代	2	1 海洋帝国の出現	○ヨーロッパの海外進出の背景, ポルトガルのインド洋・南シナ海・東シナ海の進出、スペインのアメリカ大陸進出と植民地経営の特徴を理解する。	1.2.3.4			
	2	2 大交易時代	○ヨーロッパのアジアやラテンアメリカへの進出, ヨーロッパ社会の変容、東南アジアや東アジア世界での交易の発展を理解する。				
第14章 近世のヨーロッパ	1	1,主権国家と宗教改革	○主権国家の成立, 宗教改革と対抗宗教改革の動きを, 当時の国際関係を踏まえ理解する。	1.2.3.4			
	4	2 オランダの繁栄と 英仏	○オランダの商業覇権の確立と要因、ピューリタン革命・名誉革命、イギリス立憲王政の確立過程、フランス絶対王政の展開、三十年戦争を理解する。				
	1	3 専制国家	○プロイセンの強国化やロシア台頭の過程とその影響を理解する。				
	1	4 近世ヨーロッパ	○近世ヨーロッパの社会の変容, 科学革命, 主権国家の理論・イギリス経験論・大陸合理論・啓蒙思想などの諸思想について理解する。				
10月	第15章 欧米における国民	2	1,激化する経済覇権抗 争	○大西洋三角貿易と各地への影響、オランダの植民地経営への転換, 北米やインドにおける英仏の植民地抗争について理解する。	1.2.3.4	2学期末考 査	
11月	国家の形成	2	2 工業と社会問題の 発生	○産業革命の背景や展開, 産業革命によって新たに発生した諸問題、産業革命の波及によって成立した世界秩序について理解する。	1.2.3.4		
		1	3 合衆国とラテンア メリカ	○アメリカ合衆国独立の過程と独立後の領土拡大について理解する。 ○ラテンアメリカ諸国の独立, 独立後のラテンアメリカ社会の特徴や問題を理解する。			
		1	4,フランス革命とウィ ーン体制	○フランス革命の背景, 革命の展開, ナポレオン戦争の展開を理解する。 ○フランス革命により国民国家の原則が登場し, ナポレオンの大陸制圧で欧州にナショナリズムが拡大したこと,ウィーン体制の成立と性質を理解する。			
		1	5,社会変革	○ナショナリズムや社会主義思想の出現と革命運動の性質を理解する。			
		2		○『権利章典』『独立宣言』『人権宣言』より共通点と相違点を考える。			
		2		○『権利章典』『独立宣言』『人権宣言』より共通点と相違点を考える。			
第4編 一体化の 進展と世界の再編 第16章 資本主義 と帝国主義	4	1 欧米世界	○ヨーロッパ諸国とアメリカの状況について理解する。	1.2.3.4			
	1	2 欧米経済と文化	○帝国主義の背景や特質について, 人口移動, 社会生活の変容, 新たな思想・文化など, 様々な視点で理解する。				
	1	3,帝国主義と世界秩序	○ヨーロッパのアフリカ分割や合衆国のカリブ海政策など, 欧米による世界分割を理解する。				
12月	第17章 アジア諸 地域の変革運動	3	1,西アジアの改革運動	○ワッハーブ派やパン=イスラーム主義による改革、オスマン帝国の改革、カージャール朝への英露の進出, それに対する抵抗を理解する。	1.2.3.4		
		2	2,植民地化と民族運動	○イギリスのインド支配の拡大と特徴, イギリス支配への抵抗、東南アジア各地の植民地化と植民地経営の特徴, 東南アジアでの民族運動を理解する。			
		2	3,清の動揺と東アジア	○アヘン戦争から辛亥革命に至る経緯, 旧体制温存と変革, 近代化と排外主義、日本の勢力拡大や朝鮮半島の植民地, アジアの国際秩序を整理する。			
1月	第18章 世界戦争の時代	2	1,第一次大戦	○第一次世界大戦時の国際的な対立～大戦終結に至る経緯を理解する。	1.2.3.4		
		2	2 ヴェルサイユ体制	○ロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の成立と特徴を理解する。			
		2	3 大戦後の合衆国と 欧州	○大戦後アメリカ合衆国の社会経済の繁栄と、ヨーロッパ各国の動向を, 大戦後の各国の置かれた状況を考慮しながらその違いを理解する。			

2 月		2	4 アジア・アフリカの 国家形成の動き	○西アジア地域の国家形成の動き、インドの独立運動の展開を、ヒンドゥー・ムスリム教徒 の関係、東南アジア各地の民族運動、中国の近代化の様相と国民党の中国統一を学習する。		学 年 末 考 査
		1	5 世界恐慌と対立の 激化	○世界恐慌の背景と、ニューディール政策やブロック経済政策を理解する。 ○ナチスドイツの政権掌握と政治の特徴、日本の中国侵略を理解する。		
		1	6 第二次大戦	○大戦前の状況、枢軸国軍の勢力拡大、終戦にいたる経緯を理解する。		
	第5編 地球世界	1	1 合衆国の覇権と冷戦	○連合国の主導による戦後処理とその世界化の状況を理解する。	1.2.3.4	
	第19章		2, 第三勢力	○第三勢力形成の展開とその現代史的意義を理解する。	1.2.3.4	
	国民国家体制と東 西の対立	1	3 戦後体制の動揺	○冷戦の緩和、社会主義陣営内での対立、アメリカの地位低下とアジア諸国の成長、南北や 南南問題、国際経済体制の転換などを理解する。		
			4, 多極化とソ連の崩壊	○1970年代からソ連の崩壊までの時代を、ヨーロッパ、アジア、イスラーム復興、アフリカ やアメリカの動向、冷戦終結など様々な側面から理解する。		
	終章 経済のグローバル 化と新たな地域秩 序	1	1 経済のグローバル 化	○冷戦後の世界経済のグローバル化と、ヨーロッパにおけるEUの展開、アメリカやアジア 太平洋地域における地域統合の動向について理解する。	1.2.3.4	
			2, グローバル化と国際 秩序	核軍縮、環境問題、南北問題、人権などをめぐる問題など現代の諸課題を認識する。		

### 3 評価の方法

#### (1) 評価の結果を生かす

評価は自分の学習成果を確認するためになされます。不十分な点があればその後の学習につなげましょう。そのため、返却されたテストやレポートなどをしっかり見直しましょう。

#### (2) 評価の観点

評価は学習で身につける力を次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	○世界の歴史を学ぶ意義に気づき、世界史に対する関心を高め、主体的に学習に取り組んでいるか。 ○世界が抱える諸課題について、平和で民主的な世界、地域、国、社会を形成していく当事者としての自覚を持って考える態度を身につけているか。
思考・判断・表現	○世界の歴史を、自然環境とのかかわりや地理的条件、日本の歴史と関連づけて、実証的、多角的、多面的に考察しているか。 ○世界の歴史を、時間的なつながりや空間的なつながりに着目して考察しているか。 ○歴史的に形成された諸課題について、様々な理解、立場があることをふまえ、公正に判断しているか。 ○課題についての考察や判断の過程や結果を、効果的な方法を選択して適切に表現しているか。
資料活用の技能	○世界の歴史を考察するために必要な諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができているか。 ○得られた資料や情報を効果的に活用し、歴史を探究する学び方を身につけているか。
知識・理解	○古代から現代まで世界の政治、経済、社会、文化、宗教、生活の各領域での歴史的な事象を理解し、基本的な知識を身につけているか。 ○古代から現代にいたる世界の歴史の大きな枠組みと展開を、地理的条件や日本の歴史とも関連付けながら理解しているか。

#### (3) 評価の時期と方法

- ①年5回の定期考査では、ペーパーテストによって出題範囲における「知識・理解」の習得の状況を評価し、論述問題等を通して「思考・判断・表現」の状況を評価します。
- ②不定期に課す課題探究学習の際のレポートは、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」および「資料活用の技能」の状況を評価する資料とします。
- ③学習活動の様子や発表、討論などの様子を評価のための資料とします。
- ④自己評価、振り返りシートを評価の参考とします。

#### (4) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価に関する情報を総合的に判断して下記のように行います。

- ①定期考査の得点 **80%**
- ②課題の提出（新聞等）・発表・プリント・ノート提出等・その他（授業態度等） **20%**の割合。

# 地理歴史科 地理総合 シラバス

対象学年クラス： 2 年 1～9 組 (必修)

単位数： 2 単位

## 1 地理歴史科の目標

世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会で主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。

## 2 地理総合の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を研究したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。

- ①地図、生活文化、自然環境、産業等と人々の生活を通して現代世界の特色や多様性を探る。
- ②現代社会の諸課題（国家間、日本の近隣諸国、環境・エネルギー問題、人口・食糧問題、居住・都市問題、民族・領土問題）を理解する。
- ③自然環境と防災についての理解を深め、持続可能な地域づくりを探る。
- ④地理総合の学習が世界を捉えるうえで重要であることを理解するとともに、地域や世界の諸問題について考え、自分の意見を発表する力を身につける。

## 3 教材

教科書： 『新地理総合』（帝国書院）、『標準高等地図--地図でよむ現代社会--』（帝国書院）

副読本： 『新地理総合ノート』、『新詳地理資料COMPLETE2023』

## 4 授業方法及び形態

を中心として、時事問題や国際問題など世界の諸地域との関連について思考したり、グループ活動なども行う。他教科や実生活と授業の内容を関連づけた学習が必要であり、ニュースや身の回りの事象について自ら考え、発表する力も求められる。資料や問題プリントを単元に応じて配布していくので、生徒各自が板書やファイルへのまとめをしっかりと行うことを意識づける。

## 5 評価の観点及び趣旨

知識及び技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けている。
思考力、判断力、表現力	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることや、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。
学びに向かう力、人間性等	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。

学期	月	時限	項目(タイトル)	評価規準の具体例
				①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
<b>第1部 地図でとらえる現代世界</b>				
<b>第1章 地図と地理情報システム</b>				<b>第1章の評価規準</b> ①日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 ②地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
<b>1節 地球上の位置と時差</b>				
1学期	4	1	1 地球上の位置と私たちの生活	①緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について理解している。 ②緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。
1学期	4	1	2 時差と私たちの生活	①時差のしくみ、時差が生活に与える影響について理解している。 ②時差のしくみ、時差が生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③時差のしくみ、時差が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
<b>2節 地図の役割と種類</b>				
1学期	4	2	1 地球儀と地図	①球体の地球と平面の地図、さまざまな地図投影法(図法)について理解している。 ②球体の地球と平面の地図、さまざまな地図投影法(図法)について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③球体の地球と平面の地図、さまざまな地図投影法(図法)について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	4	2	2 身の回りの地図	①身の回りの主題図やさまざまな一般図の表現方法や用途について理解している。 ②身の回りの主題図やさまざまな一般図の表現方法や用途について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③身の回りの主題図やさまざまな一般図の表現方法や用途について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1学期	4	3	3 統計地図の種類と利用	①統計地図の種類、統計地図の比較と使い分けについて理解しており、基礎的・基本的な技能を身に付けている。 ②統計地図の種類、統計地図の比較と使い分けについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③統計地図の種類、統計地図の比較と使い分けについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

1 学 期	4	4	4	地理情報システム (GIS)の活用	<p>①地理情報システム (GIS) のしくみやこれを支える技術, GISの活用場面について理解しており, 基礎的・基本的な技能を身に付けている。</p> <p>②地理情報システム (GIS) のしくみやこれを支える技術, GISの活用場面について, 多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>③地理情報システム (GIS) のしくみやこれを支える技術, GISの活用場面について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</p>
<b>第2章 結び付きを深める現代世界</b>					<p><b>第2章の評価規準</b></p> <p>①現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に, 方位や時差, 日本の位置と領域, 国内や国家間の結び付きについて理解している。</p> <p>②現代世界の地域構成について, 位置や範囲などに着目して, 主題を設定し, 世界的視野から見た日本の位置, 国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>③現代世界の地域構成について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</p>
<b>1節 現代世界の国家と領域</b>					
1 学 期	4	5	1	現代世界の国家	<p>①国境の種類, 国家の領域, 国家の主権について理解している。</p> <p>②国境の種類, 国家の領域, 国家の主権について, 多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>③国境の種類, 国家の領域, 国家の主権について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</p>
1 学 期	4	5	2	日本の位置や領域	<p>①日本の位置と領域, 排他的経済水域の特徴, 日本の領土をめぐる問題について理解している。</p> <p>②日本の位置と領域, 排他的経済水域の特徴, 日本の領土をめぐる問題について, 多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>③日本の位置と領域, 排他的経済水域の特徴, 日本の領土をめぐる問題について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</p>
<b>2節 グローバル化する世界</b>					
1 学 期	5	6	1	国家間の結び付き	<p>①国際関係と紛争の変化, 国連が果たす役割, 経済のグローバル化と地域ごとの経済的な結びつきについて理解している。</p> <p>②国際関係と紛争の変化, 国連が果たす役割, 経済のグローバル化と地域ごとの経済的な結びつきについて, 多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>③国際関係と紛争の変化, 国連が果たす役割, 経済のグローバル化と地域ごとの経済的な結びつきについて, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</p>
1 学 期	5	6	2	貿易によって結び付く世界	<p>①暮らしを支える貿易, 貿易の変化と国際分業の成立, 自由化する世界の貿易について理解している。</p> <p>②暮らしを支える貿易, 貿易の変化と国際分業の成立, 自由化する世界の貿易について, 多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>③暮らしを支える貿易, 貿易の変化と国際分業の成立, 自由化する世界の貿易について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</p>

1 学 期	5	7	3	さまざまな交通網の発達	<p>①世界を結ぶ航空交通の発達，貿易を支える海上交通の発達，陸上交通の発達と変化について理解している。</p> <p>②世界を結ぶ航空交通の発達，貿易を支える海上交通の発達，陸上交通の発達と変化について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③世界を結ぶ航空交通の発達，貿易を支える海上交通の発達，陸上交通の発達と変化について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
1 学 期	5	7	4	世界を結ぶ通信網の発達	<p>①通信技術の発達と一体化する世界，情報通信技術の発達で変化する生活行動，情報通信技術が生み出す格差について理解している。</p> <p>②通信技術の発達と一体化する世界，情報通信技術の発達で変化する生活行動，情報通信技術が生み出す格差について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③通信技術の発達と一体化する世界，情報通信技術の発達で変化する生活行動，情報通信技術が生み出す格差について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
1 学 期	5	8	5	観光のグローバル化	<p>①観光のグローバル化，多様化する観光のスタイルについて理解している。</p> <p>②観光のグローバル化，多様化する観光のスタイルについて，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③観光のグローバル化，多様化する観光のスタイルについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
<b>第2部 国際理解と国際協力</b>					
<b>第1章 生活文化の多様性と国際理解</b>					<p><b>第1章の評価規準</b></p> <p>①世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</p> <p>②世界の人々の生活文化について，その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
<b>序説 生活文化の多様性</b>					
1 学 期	5	9	1	生活文化を考察する方法	<p>①生活文化を考察する方法，国際理解の重要性について理解している。</p> <p>②生活文化を考察する方法，国際理解の重要性について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③生活文化を考察する方法，国際理解の重要性について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
<b>1節 世界の地形と人々の生活</b>					

1 学 期	5	10	1 大地形と人々の生活	<p>①生活の舞台となる陸地，地形をつくる営力，大地形を構成する変動帯と安定地域について理解している。</p> <p>②生活の舞台となる陸地，地形をつくる営力，大地形を構成する変動帯と安定地域について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③生活の舞台となる陸地，地形をつくる営力，大地形を構成する変動帯と安定地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
1 学 期	5	10	2 変動帯と人々の生活	<p>①変動帯のプレート境界と生活への影響，地震・火山と生活への影響について理解している。</p> <p>②変動帯のプレート境界と生活への影響，地震・火山と生活への影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③変動帯のプレート境界と生活への影響，地震・火山と生活への影響について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
1 学 期	5	11	3 安定地域と人々の生活	<p>①安定地域の平野と生活への影響，安定地域の山地と生活への影響について理解している。</p> <p>②安定地域の平野と生活への影響，安定地域の山地と生活への影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③安定地域の平野と生活への影響，安定地域の山地と生活への影響について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
1 学 期	5	12	4 河川がつくる地形と人々の生活	<p>①河川がつくる地形と生活の関わり，上・中流域の地形と生活への影響，下流域の地形と生活への影響について理解している。</p> <p>②河川がつくる地形と生活の関わり，上・中流域の地形と生活への影響，下流域の地形と生活への影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③河川がつくる地形と生活の関わり，上・中流域の地形と生活への影響，下流域の地形と生活への影響について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
1 学 期	6	12	5 海岸の地形と人々の生活	<p>①海の恵みを生かした産業，海岸の地形と生活の関わりについて理解している。</p> <p>②海の恵みを生かした産業，海岸の地形と生活の関わりについて，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③海の恵みを生かした産業，海岸の地形と生活の関わりについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
1 学 期	6	13	6 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活	<p>①氷河地形と生活の関わり，カルスト地形と生活の関わり，乾燥地形と生活の関わりについて理解している。</p> <p>②氷河地形と生活の関わり，カルスト地形と生活の関わり，乾燥地形と生活の関わりについて，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③氷河地形と生活の関わり，カルスト地形と生活の関わり，乾燥地形と生活の関わりについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
<b>2節 世界の気候と人々の生活</b>				

1 学 期	6	14	1 気温・降水と人々の生活	<p>①気候が生活に与える影響，気温のしくみと分布の特徴，降水のしくみと分布の特徴について理解している。</p> <p>②気候が生活に与える影響，気温のしくみと分布の特徴，降水のしくみと分布の特徴について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③気候が生活に与える影響，気温のしくみと分布の特徴，降水のしくみと分布の特徴について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
1 学 期	6	15	2 大気大循環と人々の生活	<p>①大気大循環・恒常風のしくみと生活への影響，季節風（モンスーン）のしくみと生活への影響について理解している。</p> <p>②大気大循環・恒常風のしくみと生活への影響，季節風（モンスーン）のしくみと生活への影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③大気大循環・恒常風のしくみと生活への影響，季節風（モンスーン）のしくみと生活への影響について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
1 学 期	6	16	3 世界の植生と気候区分	<p>①植生と気候の関わり，ケッペンの気候区分について理解している。</p> <p>②植生と気候の関わり，ケッペンの気候区分について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③植生と気候の関わり，ケッペンの気候区分について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
1 学 期	6	17	4 熱帯の生活	<p>①高温多湿な熱帯の気候・植生と生活との関わりについて理解している。</p> <p>②高温多湿な熱帯の気候・植生と生活との関わりについて，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③高温多湿な熱帯の気候・植生と生活との関わりについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
1 学 期	6	17	5 乾燥帯の生活	<p>①水の少ない乾燥帯の気候・植生と生活との関わりについて理解している。</p> <p>②水の少ない乾燥帯の気候・植生と生活との関わりについて，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③水の少ない乾燥帯の気候・植生と生活との関わりについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
1 学 期	6	18	6 温帯の生活	<p>①季節の変化に富む温帯の気候・植生と生活との関わりについて理解している。</p> <p>②季節の変化に富む温帯の気候・植生と生活との関わりについて，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③季節の変化に富む温帯の気候・植生と生活との関わりについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>

1 学 期	6	18	7 亜寒帯・寒帯の生活	<p>①冬が長い亜寒帯の気候・植生と生活との関わり、雪と氷に覆われる寒帯の気候・植生と生活との関わりについて理解している。</p> <p>②冬が長い亜寒帯の気候・植生と生活との関わり、雪と氷に覆われる寒帯の気候・植生と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③冬が長い亜寒帯の気候・植生と生活との関わり、雪と氷に覆われる寒帯の気候・植生と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
<b>追究事例 自然1</b>				
<b>乾燥した大陸と太平洋の島々での生活 -オセアニア</b>				
1 学 期	7	19	1 人々をひきつける多様な自然環境	<p>①多くの観光客を魅了する自然環境、安定地域が広がる大陸と起伏に富んだ島々、地域によって大きく異なる気候について理解している。</p> <p>②多くの観光客を魅了する自然環境、安定地域が広がる大陸と起伏に富んだ島々、地域によって大きく異なる気候について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③多くの観光客を魅了する自然環境、安定地域が広がる大陸と起伏に富んだ島々、地域によって大きく異なる気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
1 学 期	7	20	2 自然環境を生かした産業と人々の生活	<p>①自然環境を生かした農業と食生活、自然環境を生かしたオーストラリアの鉱工業について理解している。</p> <p>②自然環境を生かした農業と食生活、自然環境を生かしたオーストラリアの鉱工業について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③自然環境を生かした農業と食生活、自然環境を生かしたオーストラリアの鉱工業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
<b>追究事例 自然2</b>				
<b>モンスーンの影響を受ける地域での生活 -東南アジア</b>				
1 学 期	7	19	1 モンスーンの影響を受けてきた人々の生活	<p>①季節風（モンスーン）の影響を受ける人々の生活、モンスーンを利用した交易の歴史、さまざまな民族が共に暮らす社会について理解している。</p> <p>②季節風（モンスーン）の影響を受ける人々の生活、モンスーンを利用した交易の歴史、さまざまな民族が共に暮らす社会について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③季節風（モンスーン）の影響を受ける人々の生活、モンスーンを利用した交易の歴史、さまざまな民族が共に暮らす社会について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
1 学 期	7	20	2 気候を生かした農業と人々の生活	<p>①季節風（モンスーン）を生かした稲作と米食文化、熱帯の気候を生かした商品作物の栽培について理解している。</p> <p>②季節風（モンスーン）を生かした稲作と米食文化、熱帯の気候を生かした商品作物の栽培について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③季節風（モンスーン）を生かした稲作と米食文化、熱帯の気候を生かした商品作物の栽培について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
<b>3節 世界の言語・宗教と人々の生活</b>				

1 学 期	7	21	1 世界の言語と人々の生活文化	<p>①言語と民族の関わり，公用語と人々の生活への影響について理解している。</p> <p>②言語と民族の関わり，公用語と人々の生活への影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③言語と民族の関わり，公用語と人々の生活への影響について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
1 学 期	7	22	2 世界の宗教と人々の生活文化	<p>①宗教の食生活への影響，宗教と生活の関わりについて理解している。</p> <p>②宗教の食生活への影響，宗教と生活の関わりについて，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③宗教の食生活への影響，宗教と生活の関わりについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
<b>追究事例 宗教1</b> <b>イスラームと人々の生活の関わり -中央アジア・西アジア・北アフリカ</b>				
1 学 期	7	23	1 イスラームを中心とした生活文化	<p>①ムスリムの生活，三つの言語集団と生活習慣の地域差について理解している。</p> <p>②ムスリムの生活，三つの言語集団と生活習慣の地域差について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③ムスリムの生活，三つの言語集団と生活習慣の地域差について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
1 学 期	7	23	2 乾燥地域で暮らすムスリムの生活文化	<p>①オアシス都市で発達したイスラーム，乾燥した地域での暮らし，乾燥した地域での農業について理解している。</p> <p>②オアシス都市で発達したイスラーム，乾燥した地域での暮らし，乾燥した地域での農業について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③オアシス都市で発達したイスラーム，乾燥した地域での暮らし，乾燥した地域での農業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
1 学 期	7	24	3 変化するムスリムの生活	<p>①人々の生活を豊かにした石油資源，石油収入がもたらした生活の変化について理解している。</p> <p>②人々の生活を豊かにした石油資源，石油収入がもたらした生活の変化について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③人々の生活を豊かにした石油資源，石油収入がもたらした生活の変化について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
<b>追究事例 宗教2</b> <b>ヒンドゥー教と人々の生活の関わり -インド-</b>				

1 学 期	7	23	1 インドの歩みとヒンドゥー教	<p>①南アジアの民族と歩み、ヒンドゥー教と人々の生活への影響、多様な言語について理解している。</p> <p>②南アジアの民族と歩み、ヒンドゥー教と人々の生活への影響、多様な言語について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③南アジアの民族と歩み、ヒンドゥー教と人々の生活への影響、多様な言語について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
1 学 期	7	23	2 宗教や自然環境の影響を受けるインドの食生活	<p>①宗教や農作物からみる食生活、巨大な人口を支える農業改革、畜産の発達と食生活の変化について理解している。</p> <p>②宗教や農作物からみる食生活、巨大な人口を支える農業改革、畜産の発達と食生活の変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③宗教や農作物からみる食生活、巨大な人口を支える農業改革、畜産の発達と食生活の変化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
1 学 期	7	24	3 変化するヒンドゥー教徒の生活	<p>①ICT産業の発展、成長するインドの工業、経済成長による生活の変化について理解している。</p> <p>②ICT産業の発展、成長するインドの工業、経済成長による生活の変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ICT産業の発展、成長するインドの工業、経済成長による生活の変化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
<b>4節 歴史的背景と人々の生活</b>				
2 学 期	9	25	1 歴史的背景が人々の生活に与える影響	<p>①生活文化に影響した歴史的背景、冷戦時代の体制が生活に与える影響について理解している。</p> <p>②生活文化に影響した歴史的背景、冷戦時代の体制が生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③生活文化に影響した歴史的背景、冷戦時代の体制が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
<b>追究事例 歴史1</b>				
<b>移民の歴史と人々の生活の関わり -ラテンアメリカ-</b>				
2 学 期	9	26	1 ヨーロッパ社会の影響が強い文化	<p>①ラテンアメリカの成り立ちとラテン文化の形成、地域で異なる民族構成について理解している。</p> <p>②ラテンアメリカの成り立ちとラテン文化の形成、地域で異なる民族構成について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③ラテンアメリカの成り立ちとラテン文化の形成、地域で異なる民族構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
2 学 期	9	27	2 大土地所有制が生み出した社会構造	<p>①大土地所有制による農業と社会構造、先住民の暮らしと伝統的な農業について理解している。</p> <p>②大土地所有制による農業と社会構造、先住民の暮らしと伝統的な農業について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③大土地所有制による農業と社会構造、先住民の暮らしと伝統的な農業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>

2 学 期	9	28	3 外国資本による工業化と生活の変化	<p>①鉱産資源を基盤とした工業化，経済発展による生活の変化について理解している。</p> <p>②鉱産資源を基盤とした工業化，経済発展による生活の変化について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③鉱産資源を基盤とした工業化，経済発展による生活の変化について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
<b>追究事例 歴史2</b>				
<b>植民地支配の歴史と人々の生活の関わり -サハラ以南 アフリカ-</b>				
2 学 期	9	26	1 生活文化に残る旧宗主国の影響	<p>①西アフリカにみる旧宗主国の影響，植民地支配の歴史と人々の生活文化への影響について理解している。</p> <p>②西アフリカにみる旧宗主国の影響，植民地支配の歴史と人々の生活文化への影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③西アフリカにみる旧宗主国の影響，植民地支配の歴史と人々の生活文化への影響について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
2 学 期	9	27	2 植民地支配の影響が残るアフリカの産業	<p>①商品作物にみる植民地支配の歴史の影響，一次産品への依存が強い産業について理解している。</p> <p>②商品作物にみる植民地支配の歴史の影響，一次産品への依存が強い産業について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③商品作物にみる植民地支配の歴史の影響，一次産品への依存が強い産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
2 学 期	9	28	3 人々の生活の変化と経済成長への取り組み	<p>①携帯電話の普及による生活の変化，都市への人口集中，経済成長に向けた取り組みについて理解している。</p> <p>②携帯電話の普及による生活の変化，都市への人口集中，経済成長に向けた取り組みについて，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③携帯電話の普及による生活の変化，都市への人口集中，経済成長に向けた取り組みについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
<b>追究事例 歴史3</b>				
<b>国家体制の変化と人々の生活の関わり -ロシア-</b>				
2 学 期	9	26	1 国家体制の変化が人々の生活に与えた影響	<p>①国家体制の転換と人々の生活の変化，ロシアの文化と多様な民族について理解している。</p> <p>②国家体制の転換と人々の生活の変化，ロシアの文化と多様な民族について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③国家体制の転換と人々の生活の変化，ロシアの文化と多様な民族について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
2 学 期	9	27   28	2 変化するロシアの産業	<p>①ダーチャが支える食生活，経済成長と産業の変化・格差の拡大について理解している。</p> <p>②ダーチャが支える食生活，経済成長と産業の変化・格差の拡大について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③ダーチャが支える食生活，経済成長と産業の変化・格差の拡大について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
<b>5節 世界の産業と人々の生活</b>				

2 学 期	9	29	1 人々の生活を支える農業の発展	<p>①人々の工夫と農業の発展，農業の発展と生産性，農業の近代化とその課題について理解している。</p> <p>②人々の工夫と農業の発展，農業の発展と生産性，農業の近代化とその課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③人々の工夫と農業の発展，農業の発展と生産性，農業の近代化とその課題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
2 学 期	9	30	2 人々の生活を支える工業の発展	<p>①工業の発達と生活の変化，工業地域の地域差について理解している。</p> <p>②工業の発達と生活の変化，工業地域の地域差について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③工業の発達と生活の変化，工業地域の地域差について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
2 学 期	9	31	3 グローバル化する現代の産業と人々の生活	<p>①企業活動のグローバル化と人々の生活への影響，脱工業化社会と人々の生活について理解している。</p> <p>②企業活動のグローバル化と人々の生活への影響，脱工業化社会と人々の生活について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③企業活動のグローバル化と人々の生活への影響，脱工業化社会と人々の生活について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
<b>追究事例 産業1</b>				
<b>産業力が世界の生活文化に与える影響 -アメリカ合衆国-</b>				
2 学 期	10	32	1 世界に大きな影響力をもつ知識産業と資源	<p>①世界標準を生み出すICT産業，産業構造の変化とサンベルトの台頭，シェール革命が世界に与えた影響について理解している。</p> <p>②世界標準を生み出すICT産業，産業構造の変化とサンベルトの台頭，シェール革命が世界に与えた影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③世界標準を生み出すICT産業，産業構造の変化とサンベルトの台頭，シェール革命が世界に与えた影響について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
2 学 期	10	33	2 世界の食卓に影響を与える農業	<p>①世界の穀物市場を動かす穀物メジャー，適地適作の農業と大規模農業の課題について理解している。</p> <p>②世界の穀物市場を動かす穀物メジャー，適地適作の農業と大規模農業の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③世界の穀物市場を動かす穀物メジャー，適地適作の農業と大規模農業の課題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
2 学 期	10	34	3 産業の発展を支えてきた移民の力	<p>①集まる世界の人材，移民国家としての発展，多民族国家で生まれた文化について理解している。</p> <p>②集まる世界の人材，移民国家としての発展，多民族国家で生まれた文化について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③集まる世界の人材，移民国家としての発展，多民族国家で生まれた文化について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>

<b>追究事例 産業2</b>				
<b>経済成長による人々の生活の変化 -東アジア-</b>				
2 学 期	10	32	1 東アジアの経済成長とその歩み	<p>①東アジアの経済急成長の歩み，市場経済の導入で成長した中国，世界の工場から世界の市場への発展について理解している。</p> <p>②東アジアの経済急成長の歩み，市場経済の導入で成長した中国，世界の工場から世界の市場への発展について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③東アジアの経済急成長の歩み，市場経済の導入で成長した中国，世界の工場から世界の市場への発展について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
2 学 期	10	33	2 経済成長による中国の生活の変化	<p>①経済成長と生活の変化，経済格差と人口の移動，深刻な環境問題について理解している。</p> <p>②経済成長と生活の変化，経済格差と人口の移動，深刻な環境問題について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③経済成長と生活の変化，経済格差と人口の移動，深刻な環境問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
2 学 期	10	34	3 経済成長による韓国の生活の変化	<p>①進んだネット社会と首都圏への一極集中，現代に息づく韓国の伝統文化，経済成長の背景と日韓交流の深まりについて理解している。</p> <p>②進んだネット社会と首都圏への一極集中，現代に息づく韓国の伝統文化，経済成長の背景と日韓交流の深まりについて，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③進んだネット社会と首都圏への一極集中，現代に息づく韓国の伝統文化，経済成長の背景と日韓交流の深まりについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
<b>追究事例 産業3</b>				
<b>地域統合が人々の生活や産業に与える影響 -ヨーロッパ-</b>				
2 学 期	10	32	1 EU統合と人々の生活	<p>①国境を自由に移動できる生活，キリスト教に根ざした文化，EU統合への歩みとその背景について理解している。</p> <p>②国境を自由に移動できる生活，キリスト教に根ざした文化，EU統合への歩みとその背景について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③国境を自由に移動できる生活，キリスト教に根ざした文化，EU統合への歩みとその背景について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
2 学 期	10	33	2 EU統合による農業への影響	<p>①地域で異なる食文化と農業，EUの共通農業政策の影響と課題について理解している。</p> <p>②地域で異なる食文化と農業，EUの共通農業政策の影響と課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③地域で異なる食文化と農業，EUの共通農業政策の影響と課題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>

2 学 期	10	34	3 EU統合による工業や社会への影響	<p>①EU統合で発展した航空機産業，移り変わる工業地域，国境を越える労働力について理解している。</p> <p>②EU統合で発展した航空機産業，移り変わる工業地域，国境を越える労働力について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③EU統合で発展した航空機産業，移り変わる工業地域，国境を越える労働力について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
<b>第2章 地球の課題と国際協力</b>				<p><b>第2章の評価規準</b></p> <p>①世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。</p> <p>世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。</p> <p>②世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③地球的課題と国際協力について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
<b>1節 複雑に絡み合う地球的課題</b>				
2 学 期	10	35	1 相互に関連する地球的課題とその解決に向けて	<p>①地球的課題の背景にある経済格差，地球的課題の解決に向けての取り組みや私たちにできることについて理解している。</p> <p>②地球的課題の背景にある経済格差，地球的課題の解決に向けての取り組みや私たちにできることについて，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③地球的課題の背景にある経済格差，地球的課題の解決に向けての取り組みや私たちにできることについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
<b>2節 地球環境問題</b>				
2 学 期	10	36	1 多様な地球環境問題	<p>①地球環境問題の種類，地球環境問題の背景について理解している。</p> <p>②地球環境問題の種類，地球環境問題の背景について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③地球環境問題の種類，地球環境問題の背景について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
2 学 期	10	37	2 熱帯林の破壊への対策	<p>①熱帯林破壊が進行する地域とその理由，インドネシアでの取り組みについて理解している。</p> <p>②熱帯林破壊が進行する地域とその理由，インドネシアでの取り組みについて，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③熱帯林破壊が進行する地域とその理由，インドネシアでの取り組みについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>

2 学 期	10	38	3 地球温暖化への対策	<p>①地球温暖化の原因と影響，地球温暖化の対策と課題，モルディブでの取り組みについて理解している。</p> <p>②地球温暖化の原因と影響，地球温暖化の対策と課題，モルディブでの取り組みについて，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③地球温暖化の原因と影響，地球温暖化の対策と課題，モルディブでの取り組みについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
<b>3節 資源・エネルギー問題</b>				
2 学 期	10	39	1 世界のエネルギー・鉱産資源	<p>①エネルギーの種類と資源利用の変化，国によって異なる電力構成，鉱産資源の利用について理解している。</p> <p>②エネルギーの種類と資源利用の変化，国によって異なる電力構成，鉱産資源の利用について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③エネルギーの種類と資源利用の変化，国によって異なる電力構成，鉱産資源の利用について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
2 学 期	11	40	2 エネルギー利用の現状と課題	<p>①エネルギーの生産と消費の不均衡，エネルギー問題の解決に向けての取り組みについて理解している。</p> <p>②エネルギーの生産と消費の不均衡，エネルギー問題の解決に向けての取り組みについて，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③エネルギーの生産と消費の不均衡，エネルギー問題の解決に向けての取り組みについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
2 学 期	11	41   42	3 地域で異なるエネルギー問題への取り組み	<p>①バイオエタノールに力を入れるブラジルの取り組み，洋上風力発電に力を入れるデンマークの取り組みについて理解している。</p> <p>②バイオエタノールに力を入れるブラジルの取り組み，洋上風力発電に力を入れるデンマークの取り組みについて，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③バイオエタノールに力を入れるブラジルの取り組み，洋上風力発電に力を入れるデンマークの取り組みについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
<b>4節 人口問題</b>				
2 学 期	11	43	1 世界の人口	<p>①世界の人口分布と人口増加の傾向，人口ピラミッドからみる国や地域人口の特徴について理解している。</p> <p>②世界の人口分布と人口増加の傾向，人口ピラミッドからみる国や地域人口の特徴について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③世界の人口分布と人口増加の傾向，人口ピラミッドからみる国や地域人口の特徴について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>
2 学 期	11	44	2 発展途上国と先進国の人口問題	<p>①発展途上国の人口問題，先進国の人口問題，人口移動と移民について理解している。</p> <p>②発展途上国の人口問題，先進国の人口問題，人口移動と移民について，多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③発展途上国の人口問題，先進国の人口問題，人口移動と移民について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。</p>

2 学 期	11	45   46	3 地域で異なる人口問題への取り組み	<p>①インドでの人口増加抑制の取り組み、フランスでの人口増加維持の取り組みについて理解している。</p> <p>②インドでの人口増加抑制の取り組み、フランスでの人口増加維持の取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③インドでの人口増加抑制の取り組み、フランスでの人口増加維持の取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
<b>5節 食料問題</b>				
2 学 期	12	47	1 飢餓と飽食	<p>①発展途上国の飢餓の問題、先進国に偏る食料の問題について理解している。</p> <p>②発展途上国の飢餓の問題、先進国に偏る食料の問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③発展途上国の飢餓の問題、先進国に偏る食料の問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
2 学 期	12	48   49	2 地域で異なる食料問題への取り組み	<p>①食料の増産を目指すウガンダの取り組み、食品ロスの解決を目指すアメリカ合衆国の取り組みについて理解している。</p> <p>②食料の増産を目指すウガンダの取り組み、食品ロスの解決を目指すアメリカ合衆国の取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③食料の増産を目指すウガンダの取り組み、食品ロスの解決を目指すアメリカ合衆国の取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
<b>6節 都市・居住問題</b>				
2 学 期	12	50	1 世界の都市の発展	<p>①都市の発達、大都市の形成と分布、都市内部の機能と構造について理解している。</p> <p>②都市の発達、大都市の形成と分布、都市内部の機能と構造について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③都市の発達、大都市の形成と分布、都市内部の機能と構造について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
2 学 期	12	51	2 発展途上国と先進国の都市・居住問題	<p>①発展途上国の都市・居住問題、先進国の都市・居住問題について理解している。</p> <p>②発展途上国の都市・居住問題、先進国の都市・居住問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③発展途上国の都市・居住問題、先進国の都市・居住問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
2 学 期	12	52   53	3 地域で異なる都市・居住問題への取り組み	<p>①メキシコシティの都市・居住問題への取り組み、ポートランドの都市・居住問題への取り組みについて理解している。</p> <p>②メキシコシティの都市・居住問題への取り組み、ポートランドの都市・居住問題への取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③メキシコシティの都市・居住問題への取り組み、ポートランドの都市・居住問題への取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
<b>第3部 持続可能な地域づくりと私たち</b>				

<b>第1章 自然環境と防災</b>				<b>第1章の評価規準</b> ①我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 ②地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
<b>1節 日本の自然環境</b>				
3 学 期	1	54	1 日本の地形	①プレートが重なり合う日本列島、日本列島の背骨をなす山地、日本の河川と沖積平野について理解している。 ②プレートが重なり合う日本列島、日本列島の背骨をなす山地、日本の河川と沖積平野について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③プレートが重なり合う日本列島、日本列島の背骨をなす山地、日本の河川と沖積平野について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3 学 期	1	54	2 日本の気候	①明瞭な季節変化、降水量の季節変化と地域差、日本の都市気候について理解している。 ②明瞭な季節変化、降水量の季節変化と地域差、日本の都市気候について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③明瞭な季節変化、降水量の季節変化と地域差、日本の都市気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
<b>2節 地震・津波と防災</b>				
3 学 期	1	55	1 地震・津波による災害	①地震の種類と特徴、地域で異なる震災の被害について理解しており、地理的技能を身に付けている。 ②地震の種類と特徴、地域で異なる震災の被害について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地震の種類と特徴、地域で異なる震災の被害について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3 学 期	1	56   57	2 地震・津波の被災地の取り組み	①東日本大震災と防災の取り組み、阪神・淡路大震災と防災の取り組みについて理解しており、地理的技能を身に付けている。 ②東日本大震災と防災の取り組み、阪神・淡路大震災と防災の取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③東日本大震災と防災の取り組み、阪神・淡路大震災と防災の取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
<b>3節 火山災害と防災</b>				

3 学 期	1	58	1	火山の恵みと災害	<p>①火山の分布、火山の恵み、火山災害の特徴について理解しており、地理的技能を身に付けている。</p> <p>②火山の分布、火山の恵み、火山災害の特徴について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③火山の分布、火山の恵み、火山災害の特徴について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
3 学 期	1	59   60	2	火山と共生する地域の取り組み	<p>①火山の恵み・災害と共生する島原市の取り組み、火山灰と共存する鹿児島市の取り組みについて理解しており、地理的技能を身に付けている。</p> <p>②火山の恵み・災害と共生する島原市の取り組み、火山灰と共存する鹿児島市の取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③火山の恵み・災害と共生する島原市の取り組み、火山灰と共存する鹿児島市の取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
<b>4節 気象災害と防災</b>					
3 学 期	2	61	1	さまざまな気象災害	<p>①地域で異なる気象災害、都市化による水害の変化について理解しており、地理的技能を身に付けている。</p> <p>②地域で異なる気象災害、都市化による水害の変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③地域で異なる気象災害、都市化による水害の変化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
3 学 期	2	62   63	2	気象災害への取り組み	<p>①台風による水害の課題と取り組み、大雪による積雪の影響と取り組みについて理解しており、地理的技能を身に付けている。</p> <p>②台風による水害の課題と取り組み、大雪による積雪の影響と取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③台風による水害の課題と取り組み、大雪による積雪の影響と取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
<b>5節 自然災害への備え</b>					
3 学 期	2	64	1	減災の取り組み	<p>①災害の被害を軽減するための取り組み、防災情報の活用、巨大地震への備えについて理解しており、地理的技能を身に付けている。</p> <p>②災害の被害を軽減するための取り組み、防災情報の活用、巨大地震への備えについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③災害の被害を軽減するための取り組み、防災情報の活用、巨大地震への備えについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
3 学 期	2	65   66	2	被災地への支援	<p>①被災地の自助・共助・公助、復旧・復興の取り組みについて理解しており、地理的技能を身に付けている。</p> <p>②被災地の自助・共助・公助、復旧・復興の取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③被災地の自助・共助・公助、復旧・復興の取り組みについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>

<b>第2章 生活圏の調査と地域の展望</b>				<b>第2章の評価規準</b> ①生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 ②生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
<b>1節 生活圏の調査と地域の展望</b>				
3 学 期	3	67	1 地理的な課題と地域調査	①地理的な課題の解決に向けての探究、地域調査の「問い」の設定について理解している。 ②地理的な課題の解決に向けての探究、地域調査の「問い」の設定について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地理的な課題の解決に向けての探究、地域調査の「問い」の設定について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3 学 期	3	68	2 現地調査の準備	①事前調査の方法、仮説の設定と調査計画の作成について理解している。 ②事前調査の方法、仮説の設定と調査計画の作成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③事前調査の方法、仮説の設定と調査計画の作成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3 学 期	3	69	3 現地調査の実施	①現地調査の方法について理解している。 ②現地調査の方法について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③現地調査の方法について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
3 学 期	3	70	4 調査の分析と発表	①調査結果の分析と仮説の検証、調査結果のまとめ・発表の方法について理解している。 ②調査結果の分析と仮説の検証、調査結果のまとめ・発表の方法について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③調査結果の分析と仮説の検証、調査結果のまとめ・発表の方法について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。